

## サーチライト With Pastor Jon 黙示録 14 章 パート 1

このメッセージはアップルゲート クリスマン フェローシップの、ジョン・コーソン牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスマン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録するのを感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル 4:7

メッセージ by ジョン・コーソン牧師 アップルゲート クリスマン フェローシップ

<http://joncourson.com/>

7590 Highway 238 Jacksonville, OR 97530

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by Rin

黙示録 14 章。

患難の真っ只中です。

また私は見た。見よ。小羊がシオンの山の上に立っていた。

また小羊とともに十四万四千人の人たちがいて、その額には小羊の名と、小羊の父の名とがしるしてあった。

私は天からの声を聞いた。大水の音のようで、また、激しい雷鳴のようであった。

また、私の聞いたその声は、立琴をひく人々が立琴をかき鳴らしている音のようでもあった。

彼らは、御座の前と、四つの生き物および長老たちの前とで、新しい歌を歌った。

しかし地上から贖われた十四万四千人のほかには、だれもこの歌を学ぶことができなかった。

彼らは女によって汚されたことのない人々である。彼らは童貞なのである。

彼らは、小羊が行く所には、どこにでもついて行く。彼らは、神および小羊にささげられる初穂として、人々の中から贖われたのである。彼らの口には偽りがなかった。彼らは傷のない者である。

(黙示録 14:1-5)

ここで、7 章で見た 144,000 人が再び登場します。

この間お話ししたように、携挙の後、主はイスラエルに働きかけられます。

具体的には、12 部族から 12,000 人ずつ、計 144,000 人のユダヤ人版ビリー・グラハムのユダヤ人伝道師たちが、世界中に出て行って伝道し、宣教しながら真実を伝えます。

反キリストは、彼らを迫害の標的にし、滅ぼそうとしますができませんでした。

それで、144,000 人がここで登場するのです。

139,999 人とはならず 144,000 人。

彼らには主の御名が印されていて、勝利しながら、この時代を乗り越えていました。

彼らは祝福され、権威を持って語り、その思考の中には常に主が存在していました。

また、心の中には歌があり、小羊の指揮を明確に見ることができました。

その全ての基盤になっているのは、彼らが汚れておらず、童貞であるという事実です。

清い人々。

純潔であることは報われます。

これはとても重要なことなので、皆さんの思春期の子供たちや近所の人、同僚たちに伝えて下さい。

純潔を保つことがどれだけ報われるか、この箇所を通して多くのことが学べます。

彼らは純潔、童貞だと 4 節にはっきり書いてあります。

彼らは、誘惑がそこら中にはびこっている患難時代にも、自分を汚すことをせず、誘惑の魔の手を拒んで恩恵を受けました。

今の時代に生きる私たちも、清く生きることを選ぶなら、とてつもない恩恵を受けます。

さて、今回皆さんに見て欲しいのは 3 節。

彼らは、御座の前と、四つの生き物および長老たちの前とで、新しい歌を歌った。

しかし地上から贖われた十四万四千人のほかには、だれもこの歌を学ぶことができなかった。

(黙示録 14:3)

どうして、他の誰もこの歌を歌うことができなかったのでしょうか。

なぜ、彼らだけが歌えたのでしょうか。

それは、彼らが特別に、試練や誘惑、真の患難を乗り越え、また高潔を貫き、純潔を保ったからです。

よく聞いて下さい。

あなたの試練、私の問題、私たちの患難は、私たちが望むなら、遂には交響曲を生み出すことができるのです。

彼らが他には誰も歌えない歌を歌えるのは、通って来た患難があったから。

その中であって、御父が誠実であること、彼らのことをずっと見て下さっていることを知ることができました。

私たちの誰もが患難の時を経験しますが、神の目的は、あなたの中に新しい歌、交響曲を生み出すことです。

これは本当です。

ペテロとシラスが投獄された時の話ですが、当時の刑務所には、カラーテレビや卓球台、レクリエーションの時間はありません。

そこは、じめじめとした薄暗い地下牢で、ネズミが爪先を舐め回す。

パン切れが投げ込まれるだけで、温かい食事なんてないんです。

そのような惨めな状況の中で、彼らがしていたことは、使徒の働き 16 章。

パウロとシラスは歌っていたと記されています。

交響曲。

彼らは賛美をしていたのです。

真夜中の、最も暗い時に歌っていた。

すると、地が揺れ始め、牢の扉が開きました。

地下牢の中で歌っていると、地面が揺れ、扉が開く。

これは間違いなく賛美の力。

絶対に忘れてはならないのは、賛美の力です。

でも 144,000 人の男たちは、そのために歌っているわけではありません。

彼らは、使徒 16 章の話は、聞いたことがありませんから。

神に何かをして欲しくて歌っているのではなく、主を讃えるために歌ったのでもない。

彼らが歌ったのは、主が共におられたから。

彼らは嬉しかったんです。

シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴが、燃える炉に投げ込まれた時と同じように。

この 3 人は火の中で生きていました。

主がそこに、共におられたからです。

パウロとシラスが歌っていたのも、その時、真夜中に、牢獄の中で、共におられた主の臨在に感激したからです。

144,000 人の男たちは患難を通り、そして他の誰にも歌えない歌を歌いました。

なぜなら、患難の中で、主は真実で誠実な方、栄光に満ちた良い方であることを知るからです。

神の目的は、最大の困難や試練の中で、私たちが喜びの歌を生み出すこと。

「いや、ジョン、聞いてくれ。」と、あなたは言いたいでしょう。

「私の経験はそうではなかった。」

「私は結婚生活、職場関係、病気との闘いというような地下牢の中にずっといるんだ。」

神の意図は、いつも喜びに満ち、嬉しさが湧き上がる新しい歌、交響曲をあなたに与えることです。

しかし、私たちが交響曲 (symphony) を作曲するのを止めさせるものがあるのです。

それは、「同情」 (sympathy)

どういうことでしょうか。

恐れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。わたしがあなたの神だから。

わたしはあなたを強め、あなたを助け、わたしの義の右の手で、あなたを守る。

(イザヤ書 41:10)

試練や困難や大変な時を過ごしている時でも、神のこの約束を覚えて、144,000 人のように、魂の中に交響曲を、心の中に歌を抱くことができます。

なぜなら、神が、共にいると約束し、宣言されているからです。

もしくは、人からの同情を集める方を選ぶこともできます。

困難な時に傍に来て同情を示す人々の中には、神が与えようとしている交響曲を引き抜いてしまう人がいるのです。

「まあ……かわいそうに……」

「それはそれは……なんて悲惨な状況なの……」

よくよく聞いて下さい！

「そうなんだ。本当に大変で…」

「とても大変なんだけど、耐えるしかなくて…」

これが、あなたが同情を吸収した時に、言われたことを受け止めた時に、起こる結果です。

同情に引き込まれることを選ぶなら、必ず、神に損害を与えます。

その選択に含まれている事は、恐らく口にされることも、はっきり表現されることもないでしょう。

でも、それが意味するところは、「神はなんて意地悪なんだ！」

「神は残酷だ！」

「神様があなたにこんな試練を与えるなんて！」

「神はどこにいる？」「どうして？」

「神様はなぜしてくれないの？」

「神様はどうしたの？」

あなたが、善良な人たちが示す同情を受け入れるなら、その結果必ず、神が損害を受けるのです。

神はこう言われます。

「あなたが同情を求めるなら、それを与えよう。

その代わりに、あなたの魂は、新しい歌、交響曲を受け取れない。」

皆さん、いいですか。

神は、完全に、絶対に、完璧に誠実で、あらゆる試練や患難、一つ一つの苦難の中で、私たちに出会って下さいます。

真夜中の地下牢で、パウロとシラスの魂が、主が共にいるという事にとっても感動したように、それと同じ事をあなたにもしたいと思っています。

主は、あなたの中にそれをするつもりでいます。

主は、あなたの中にきっとそれを行います。

主は、患難の時にも共にいると約束されました。

そこで、あなたがすべきことは、人の言葉に流されないことです。

「まあ……なんてこと……」などと言われたら、「違います！神様は良いお方！」

「神は今、私に触れて下さっている！」

「私は今、大きな問題に直面していますよ。確かにこれは、私にとって大きな試練です。でもね、天の父は言われる通りのお方だという事が、はっきりと分かったんです！」

「神様が、慰めて下さいます。」

「神が現れて下さる。」

「神様は、約束を守られる！」

「神は良いお方！」

これが、あなただけが歌える歌を歌い続ける秘訣なのです。

人々は言うでしょう。

「不思議だ。あなたの人生はミュージカルのようなのだ。」

でも、あなたが同情に引き込まれて行くなら、神は言うでしょう。

「OK、ジョン。人々がわたしのことを不公平だとか、残酷だとか、存在しないなどと思っているのを、あなたがそのままにしておくなら、それでも良い。

しかし、あなたはわたしの臨在を体験せず、歌を歌うこともない。

ただ、周りの人たちに嘆き悲しんでもらえるだけだ。」

大丈夫ですか？

これは、ものすごい誘惑ですよ。

試練、困難、災難、痛み、何であれ、苦しい時の周りの人からの同情というのは、大きな誘惑なのです。

人があなたに同情する時、それを受け入れてはいけません。

ほとんどの場合、神に損害を与えることになるから。

いいですか？分かりますか？

同情を受容して進む方向を得たり、涙にくれたりしている時、神は悪者にされているのです。

皆さん、神様は良いお方です！

愛する兄弟姉妹の皆さん。

どうか、神を嘘つきのように見せないで下さい。

神は嘘をつきません。

主が、「わたしはあなたと共にいる」と言われたから、共におられます。

主が、「全てのことを働かせて益とする」と言われたので、全ては益となります。

お願いです。

あなたたちは強い人です。

私は今、ベビークリスチャンにではなく、成熟した大人のクリスチャンに言っているのです。

神は真実、人間は全て嘘つきです。

神は、あなたの人生の最も暗い時に共にいると言われ、その通り、共にいて下さいます。

ご自分の計画通りに働くと言われ、その通りに動いておられます。

あなたが様々な試練を乗り越える時、神は、大きな喜びだと言われます。

だから、妻でも友人でも牧師でも誰でも、あなたに同情して、あなたの魂の交響曲を台無しにする人たちに誘惑されないように気をつけて。

それは、神に損害を与えるから。

神は真実で誠実です。

同情に浸ってはいけません。

交響曲を求めましょう。

それで、患難を通っているこの 144,000 人はものすごくて、彼らにしか歌えない歌を歌いながら登場します。

なぜなら、彼らだけが患難時代を通してそこにいるから。

彼らは涙を流したり、災いに対して文句を言ったりせず、新しい歌を歌いました。

彼らは、聖書に出て来る全ての神の人たちのように、主の臨在を味わうことを選んだのです。

また私は、もうひとりの御使いが中天を飛ぶのを見た。

彼は、地上に住む人々、すなわち、あらゆる国民、部族、国語、民族に宣べ伝えるために、永遠の福音を携えていた。(黙示録 14:6)

144,000 人は、地上戦の陸軍でした。

今度は空から、御使いの空軍が加わります。

彼は、宣教のための永遠の福音を携えています。

ところで、「地球の隅々の全人類に福音が伝えられるまで、携挙は起こらない」と言う宣教師や人々がたまにいて、その根拠はマタイ 24 章。

「この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。」(マタイ 24:14)

だから、この人たちは言うのです。

「全世界に出て行って、全ての国に福音を宣べ伝えなければ！それまで主は来られないし、携挙もない！」

それは間違いです。

そうではありません。

主は教会のために、今日にでも来ることができます。

まだ、福音が直接伝えられていない地域や民族があったとしても、携挙は今夜にでも起こり得ます。

それは、地上に住む人々、すなわち、あらゆる国民、部族、国語、民族に宣べ伝えるために(黙示録 14:6)、御使いの空軍が天から飛来して、福音を伝えるからです。

彼は大声で言った。「神を恐れ、神をあがめよ。神のさばきの時が来たからである。

天と地と海と水の源を創造した方を拝め。」(黙示録 14:7)

「進化論の猿の話をしめろ！」と、御使いは宣告します。

「全てを創造された方を拝め！」

これでやっと、『進化論 対 創造論』の討論が終わるのです。

また、第二の、別の御使いが続いてやって来て、言った。

「大バビロンは倒れた。倒れた。激しい御怒りを引き起こすその不品行のぶどう酒を、すべての国々の民に飲ませた者。」(黙示録 14:8)

バビロンについては、17 章と 18 章で詳しくお話しますが、大バビロンが崩壊します。

黙示録には二つのバビロンについて書かれています。

宗教的バビロンと商業的バビロン。

バビロンと呼ばれるニセ宗教組織と世界を制圧する経済組織。

これらのバビロン崩壊については、また後で。

また、第三の、別の御使いも、彼らに続いてやって来て、大声で言った。

「もし、だれでも、獣とその像を拝み、自分の額か手かに刻印を受けるなら、

そのような者は、神の怒りの杯に混ぜ物なしに注がれた神の怒りのぶどう酒を飲む。

また、聖なる御使いたちと小羊との前で、火と硫黄とで苦しめられる。そして、彼らの苦しみの煙は、永遠にまでも立ち上る。獣とその像とを拝む者、まただれでも獣の名の刻印を受ける者は、昼も夜も休みを得ない。(黙示録 14:9-11)

3番目の御使いが飛んで来ました。

1番目は福音を携えて、「全てのものを創造された方を拝め！」

2番目は「大バビロンは倒れた！」

人間の努力によって作られた全ての宗教と経済の崩壊。

3番目は「獣の印を受けてはならない！」

反キリストは、全人類に自分の経済システムに携わらせ、忠誠を誓わせ、神と認めさせようとしています。それをしてはいけません！

御使いは空を飛んで、世界の全ての人々に「それをしてはいけません！」と警告します。

「でも、あなたが、そうすることを選ぶなら…」

そして、人々は、それを選んでしまいました。

御使いが、「するな！」「もしそれを受けるなら、地獄を味わうことになる！」と警告したにもかかわらず、世界中で膨大な数の人間が、反キリストの極悪非道の計画に乗ってしまいます。

その人たちは、火と硫黄とで苦しめられる。(黙示録 14:10)

そして、彼らの苦しみの煙は、永遠にまでも立ち上る。(黙示録 14:11)

彼らに逃れる道はありません。

「実際の地獄は永遠ではない」と、皆さんに言ってくる人たちがいるでしょう。

彼らは、黙示録を読んでいないのです。

それにこう言う人たちは、イエスが教えたことについても知りません。

なぜなら、イエスは、聖書の中の誰よりも多く地獄について教え、天国よりも地獄についてもっと多く語ったのです。

「苦しみの煙は、永遠にまでも立ち上る。」(黙示録 14:11)

永遠です。

2度目のチャンスはありません。

つづく

だから、あなたがた分別のある人々よ。私に聞け。

神が悪を行うなど、全能者が不正をするなど、絶対にそういうことはない。

神は、人の行いをその身に報い、人に、それぞれ自分の道を見つけるようにされる。

神は決して悪を行わない。

全能者は公義を曲げない。(ヨブ記 **34:10 - 12**)